



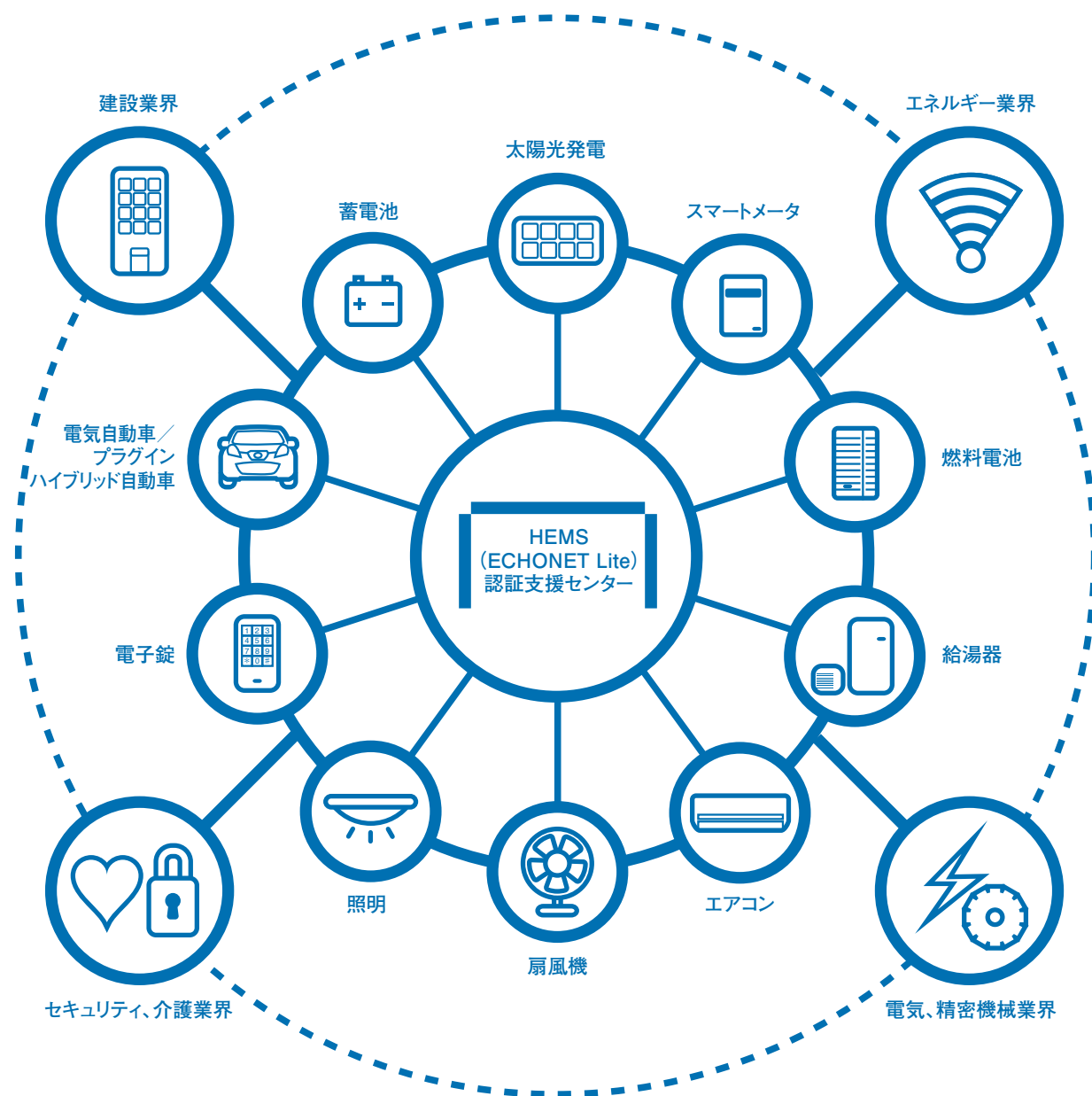
ホーム・エネマネ

センター案内



【経済産業省 スマートハウス国際標準化研究事業】

HEMS(ECHONET Lite)認証支援センター



ECHONETとおよび ECHONETLite はエコーネットコンソーシアムの商標です。



工学教育研究推進機構 スマートハウス研究センター

センターの目的と役割

1 ECHONET Lite相互接続環境 (認証支援センター)の整備

HEMS(ECHONET Lite)機器の開発事業者がいつでも相互接続試験が出来ること環境を提供しています。

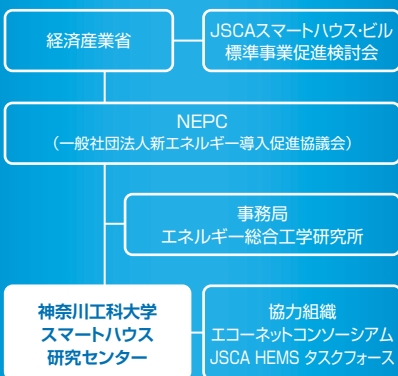
2 新規参入事業者向けの HEMS開発支援キットの開発

ECHONET Liteを搭載する機器開発の経験が無い事業者に対しての開発支援として無償で利用できる開発キットを提供しています。

3 安全性等を考慮したHEMS 及び接続機器の運用ルール ガイドラインの策定支援

中小企業など新たにHEMS事業への参入が期待される事業者のニーズに合致した開発ガイドラインの設計を支援します。

■事業体制図



ECHONET Liteとは

エコネットコンソーシアムにて策定されたHEMS構築のための通信規格。家電機器、スマートメーター、太陽光発電システムなどを含む約80種類以上の機器の制御を規定している。従来の規格「ECHONET」を見直し、ソフトウェアの実装を軽装化した。2012年2月、スマートコミュニティ・アライアンスの「スマートハウス標準化検討会」より、「公知な標準インタフェース」として推奨され、スマートハウス向け制御プロトコルとしてISO規格、IEC規格として国際標準化されている。

見学

見学のご相談に関しては、ホームページのお問合せページにご連絡ください。

<http://sh-center.org/>

認証支援センターレイアウト

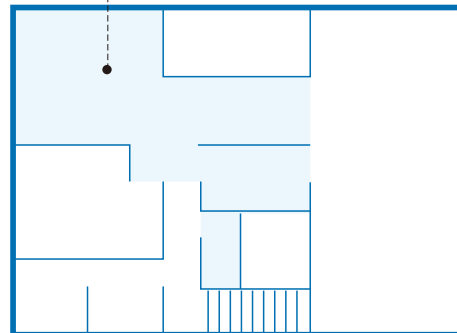
2F

展示内容 (市販HEMS商品)

主に市販されているHEMS関連商品を展示しております。

実際に市販のHEMS関連商品を展示してありますので、設置するための施工のトレーニングが出来る場所としても活用できます。

試験室D



●関連商品及び機器



●その他の商品及び機器

電動ブラインド、電動カーテン、電気便座、ホームエレベータ、クッキングヒータ、インターフォン

1F

試験室 (相互接続環境)

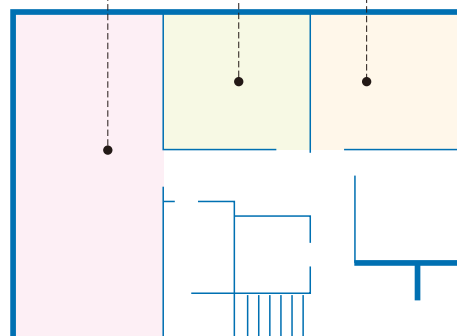
相互接続試験環境を整備した3つの試験室です。

ECHONET Liteの標準的な構成での動作テスト、ログ環境の場と環境を提供します。多様な機器を持ち込んで相互に接続テストを行う場としても活用できます。

試験室A

試験室B

試験室C



●関連商品及び機器



準化研究事業 準化における接続・制御技術研究事業

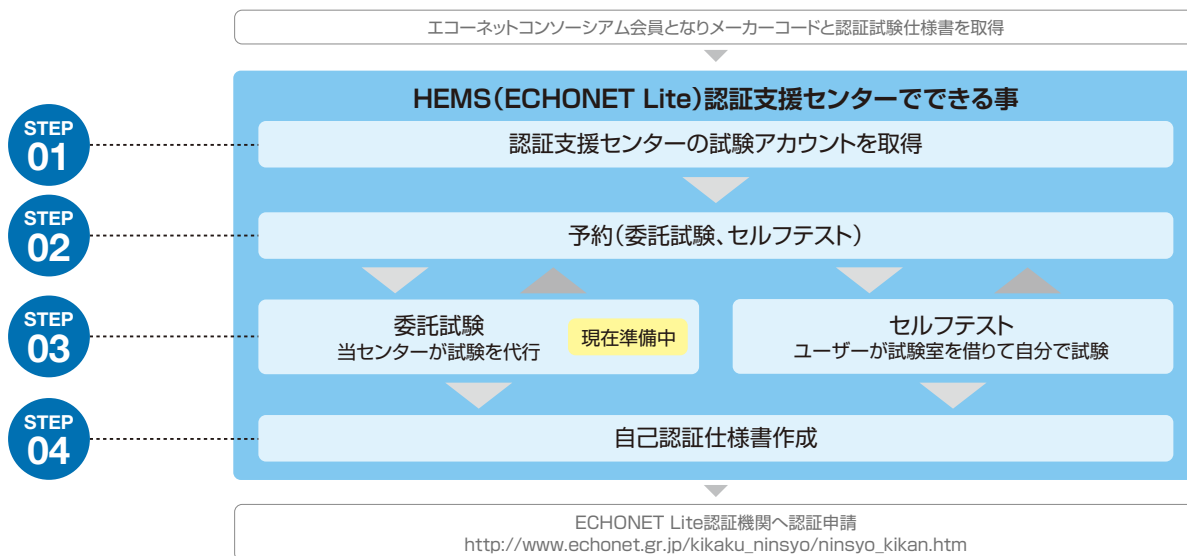


試験の予約に関しては、ホームページよりお申し込みください。

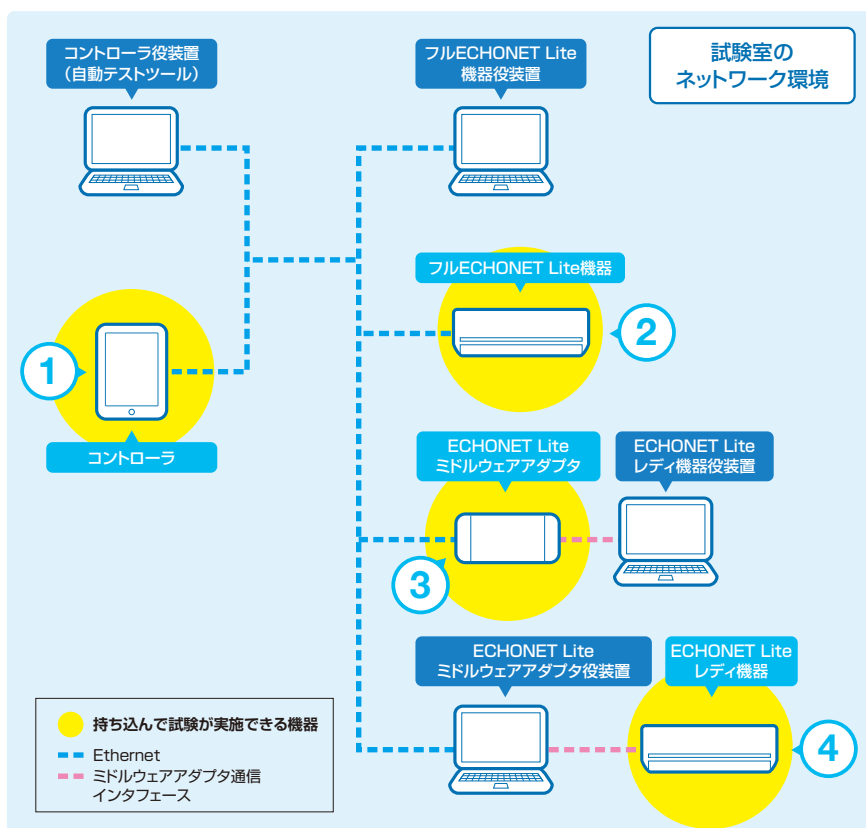
※試験予約はエコネットコンソーシアムの会員であることが条件となっております。

<http://smarhouse-center.org/>

ECHONET Lite機器認証試験のサポートを致します



4種類の相互接続試験が出来ます



4種類の相互接続試験とともに、コントローラ役装置にインストールされている自動テストツールで、ECHONET Lite認証試験が行えます。

- 1 コントローラ相互接続試験**
フルECHONET Lite機器役装置を使用し、ゲートウェイ等コントローラの相互接続試験を実施することが出来ます。
- 2 フルECHONET Lite機器相互接続試験**
コントローラ役装置を使用し、フルECHONET Lite機器相互接続試験を実施することが出来ます。
- 3 ECHONET Liteミドルウェアアダプタ相互接続試験**
コントローラ役装置と、ECHONET Liteレディ機器役装置を使用し、ECHONET Liteミドルウェアアダプタの相互接続試験を実施することが出来ます。
- 4 ECHONET Liteレディ機器相互接続試験**
コントローラ役装置と、ECHONET Liteミドルウェアアダプタ役装置を使用し、ECHONET Liteレディ機器の相互接続試験を実施することが出来ます。

センター長挨拶

近年、電力需給のアンバランスが問題になっていますが、ITを活用して賢く電気を使い、電力消費の平準化に役立つ未来の家(スマートハウス、HEMS)が目立っています。神奈川県では、経済産業省スマートハウス・ビル標準事業促進検討会の事業の一環として、HEMSにおける公知で標準的なインターフェースであるECHONET Lite規格の機器を相互接続したり、テストする環境が整った認証支援センターを開設いたします。

本センターには、大きく2つの目的があります。1つはHEMS機器を開発している企業様、および、これから新

に機器開発する企業様への相互接続環境を提供し、開発スピードを加速する支援です。2つ目はHEMSに関するサービスを提供する企業様へ、機器設置・管理に係るトレーニングの場を提供し普及を促進する支援です。

これからは、オープンなプラットフォームの上で新しいビジネスを生み出していく時代であり、今回のセンター開所もそうした時代の幕開けだと確信しています。本センターが皆様幅広く利用されるとともに、皆様と共に、新しい価値を創造していきたいと願っております。



HEMS(ECHONET Lite) 認証支援センター長
一色 正男

経済産業省挨拶

経済産業省は、需要家が起点となってエネルギーを効率的に創り利用できるような社会システムづくりを目指し、中でも、エネルギーをうまく使いこなすスマートハウスの実現普及を支援しています。その際、鍵となるのが、各家庭にHEMSを導入しそれと家電等とを繋げ連携させることです。そこで、公知で標準的なインターフェースであるECHONET Liteを推奨する旨本年2月に決定し、現在スマートハウス・ビル標準事業促進検討会で更なる具体化を進めています。今般設立されるHEMS認証支援センターは、これらの検討成果を随時踏まえながら認証支援を行い、ス

スマートハウスを実現するモノづくり、システム作りを支援する拠点です。

スマートハウスの普及には、中小企業等の幅広い事業者の参画が重要ですが、同センターが行うHEMS開発支援キットの無償提供等により参入障壁が低くなり、多くの意欲ある事業者の方々が活躍されるものと確信しております。多くの事業者の皆様方が、スマートハウス市場に果敢に参入され、様々な事業を开花されることを期待しています。皆様方の挑戦をサポートするパートナーとして「HEMS認証支援センター」を積極的に御活用いただければと思います。



経済産業省 商務情報政策局情報経済課 課長
佐脇 紀代志

エコネットコンソーシアム挨拶

エコネットコンソーシアムは1997年の設立以来、CO₂排出量の削減、ホームセキュリティやホームヘルスケアの高度化への対応を目指して、ホームネットワークの基盤ソフトウェアおよびハードウェアの開発を進めて参りました。

時代の要請に合わせ、グローバル標準プロトコルへの対応や省エネ機器に加えソーラーシステムや蓄電池などの創エネ、蓄エネ機器への対応を図ったECHONET Lite規格は、公知な標準インターフェースとして国の推奨を得たことにより、スマートハウスのプラットフォームと位置付けられ、今

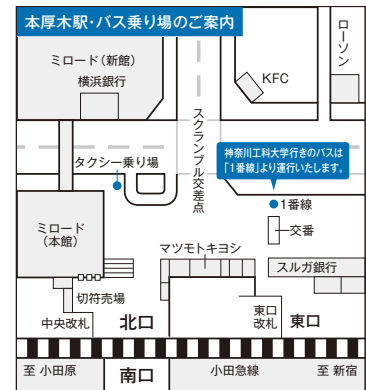
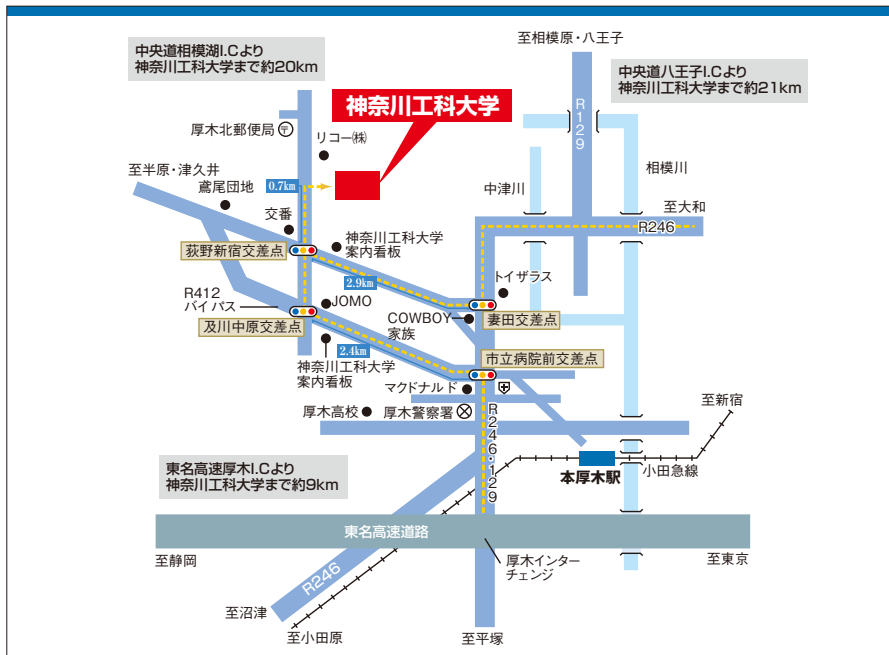
まさに普及のとば口にあります。

この度HEMS認証支援センター様が開所されたことで、相互接続試験や認証をはじめ、機器やサービスの開発が手軽に行える環境が整いました。これを契機にECHONET Lite規格の普及が一層加速するものと期待しております。今後、HEMS認証支援センター様との連携により、コンソーシアムとしてECHONET Lite規格の普及と発展に向け活動を進めて参ります。関係各位のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



エコネットコンソーシアム 理事長
種谷 元隆

アクセスマップ



小田急線「本厚木駅」下車

「新宿駅」より58分、「横浜駅(相鉄線経由)」より48分、「小田原駅」より46分

● 「本厚木駅」北口・神奈川中央交通バス1番乗場より、「青年の家行き」、「神奈川工科大学経由・鷺尾団地行き」で「神奈川工科大学前」下車。(バス乗車時間23分)
または「上荻野車庫行き」、「半原行き」、「まつかけ台行き」、「鷺尾団地行き」で「荻野新宿」下車(バス乗車時間21分)、徒歩7分。

経済産業省 スマートハウス国際標準化研究事業 エネルギー管理システム標準化における接続・制御技術研究事業

—公知な標準インターフェースを活用した相互接続検証の環境整備—

センターの目的と役割

1 ECHONET Lite相互接続環境 (認証支援センター)の整備

HEMS(ECHONET Lite)機器の開発事業者がいつでも相互接続試験が出来ること環境を提供しています。

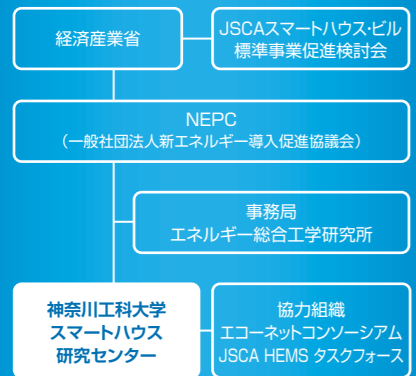
2 新規参入事業者向けの HEMS開発支援キットの開発

ECHONET Liteを搭載する機器開発の経験が無い事業者に対しての開発支援として無償で利用できる開発キットを提供しています。

3 安全性等を考慮したHEMS 及び接続機器の運用ルール ガイドラインの策定支援

中小企業など新たにHEMS事業への参入が期待される事業者のニーズに合致した開発ガイドラインの設計を支援します。

事業体制図



ECHONET Liteとは
エコネットコンソーシアムにて策定されたHEMS構築のための通信規格。家電機器、スマートメーター、太陽光発電システムなどを含む約80種類以上の機器の制御を規定している。従来の規格「ECHONET」を見直し、ソフトウェアの実装を軽装化した。2012年2月、スマートコミュニティ・アライアンスの「スマートハウス標準化検討会」より、「公知な標準インターフェース」として推奨され、スマートハウス向け制御プロトコルとしてISO規格、IEC規格として国際標準化されている。



見学

見学のご相談に関しては、ホームページのお問合せページにご連絡ください。

<http://sh-center.org/>

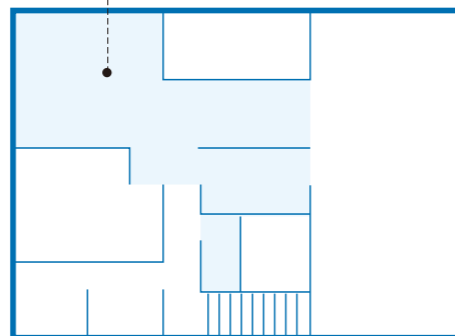
認証支援センターレイアウト

2F 展示内容 (市販HEMS商品)

主に市販されているHEMS関連商品を展示しております。

実際に市販のHEMS関連商品を展示してありますので、設置するための施工のトレーニングが出来る場所としても活用できます。

試験室D



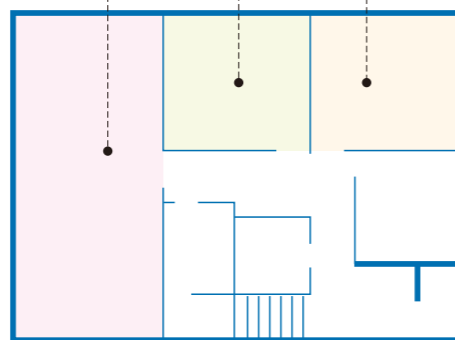
- 関連商品及び機器
 - 燃料電池
 - 照明
 - エアコン
 - 給湯器
- その他の商品及び機器
 - 電動ブラインド、電動カーテン、電気便座、ホームエレベーター、クッキングヒーター、インターフォン

1F 試験室 (相互接続環境)

相互接続試験環境を整備した3つの試験室です。

ECHONET Liteの標準的な構成での動作テスト、ログ環境の場と環境を提供します。多様な機器を持ち込んで相互に接続テストを行う場としても活用できます。

試験室A 試験室B 試験室C



- 関連商品及び機器
 - 太陽光発電
 - スマートメーター
 - エアコン
 - 電気自動車/プラグインハイブリッド自動車
 - 蓄電池

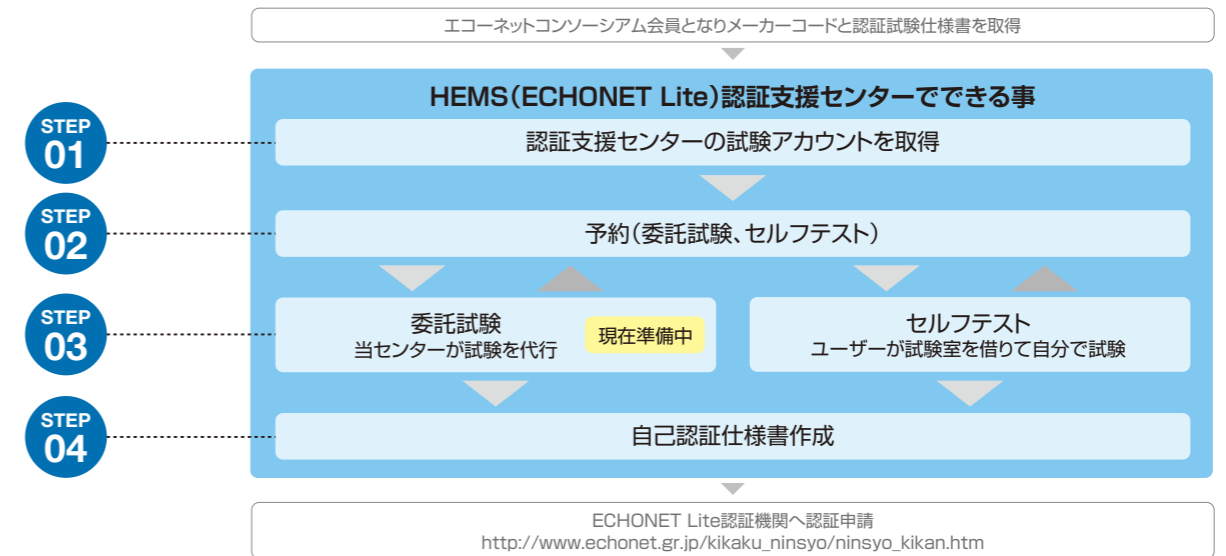
試験

試験の予約に関しては、ホームページよりお申し込みください。

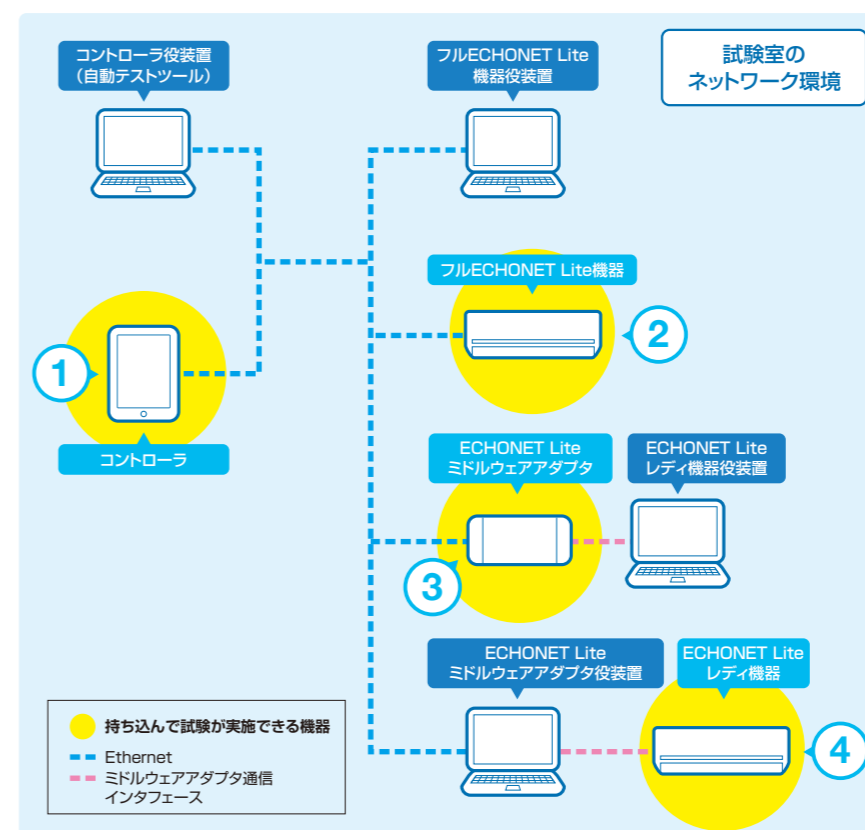
※試験予約はエコネットコンソーシアムの会員であることが条件となっております。

<http://smarthouse-center.org/>

ECHONET Lite機器認証試験のサポートを致します



4種類の相互接続試験が出来ます



4種類の相互接続試験とともに、コントローラ装置にインストールされている自動テストツールで、ECHONET Lite認証試験が行えます。

- 1 コントローラ相互接続試験**
フルECHONET Lite機器役装置を使用し、ゲートウェイ等コントローラの相互接続試験を実施することが出来ます。
- 2 フルECHONET Lite機器相互接続試験**
コントローラ役装置を使用し、フルECHONET Lite機器相互接続試験を実施することが出来ます。
- 3 ECHONET Liteミドルウェアアダプタ相互接続試験**
コントローラ役装置と、ECHONET Liteレディ機器役装置を使用し、ECHONET Liteミドルウェアアダプタの相互接続試験を実施することが出来ます。
- 4 ECHONET Liteレディ機器相互接続試験**
コントローラ役装置と、ECHONET Liteミドルウェアアダプタ役装置を使用し、ECHONET Liteレディ機器の相互接続試験を実施することが出来ます。